

ゼプリオン®についての詳しい情報はコチラ

抗精神病薬持効性注射剤  
情報サイト

LAI.jp

<http://www.LAI.jp>



**お薬について**

ゼプリオン®の特徴や投与スケジュール、副作用などを紹介しています。

**患者さんを支える方たちへ**

患者さんを支える際の対応のヒントなどについて紹介しています。

**患者さん・ご家族向け資料**

患者さん・ご家族の方に向けた資料のご案内です。

**あなただけのカレンダーを作ろう!**

予定アイコンを自由に移動して、簡単にあなただけのカレンダーを作成できます。

**統合失調症の治療について**

統合失調症の症状や治療、暮らしの中の社会資源について紹介しています。

\*LAIとはLong Acting Injectionの略で統合失調症の治療で使われる、お薬の効果が長く続く注射剤です。

**統合失調症の理解を深めたい方に**

統合失調症ナビ



統合失調症ナビは、統合失調症の理解とより良いつき合い方をサポートするサイトです。

<http://www.mental-navi.net/togoshicchoso/>



ゼプリオン®による治療をえらんだ  
あなたとあなたを支える皆さまへ



監修：藤田保健衛生大学医学部精神神経科学講座 教授 岩田 仲生  
藤田保健衛生大学医学部精神神経科学講座 講師 趙 岳人

この冊子は、1回の投与で4週間効果がつづく統合失調症治療薬(ゼプリオン®)について書かれたものです。リカバリー(自己実現)をめざすあなたとあなたを支える皆さまへご家族・ピア(仲間)・治療スタッフ〜との対話に役立ていただければ幸いです。

## もくじ

- 01 統合失調症のおもな症状 ..... 3
- 02 統合失調症の治療は… ..... 4
  - 薬をもちいる治療
  - 言葉などをもちいて行動に変化をもたらす治療
  - あなたと一緒にえらぶ治療【薬の場合】
- 03 ゼプリオン®について ..... 8
  - 薬のしくみと効果について
  - あなたにとって4週に1回の注射
  - あなたを支える皆さまへのメッセージ
- 04 ゼプリオン®の投与にあたり、ご注意いただきたいこと ..... 14
  - 投与スケジュールについて
  - 必ず守っていただきたいこと
  - 副作用について
- 05 あなたのリカバリー（自己実現）を支える社会資源 ..... 18
  - 暮らしの中の身近な社会資源
  - あなたとわたしの対話Memo

# 01

## 統合失調症のおもな症状

ようせいしょうじょう

### 陽性症状の例 (元気がありすぎてこまる症状)

- イライラ・不安・緊張が高まる
- 幻の声や音が聞こえる
- 誰かに見られている、人に狙われているなどと感じる



いんせいしょうじょう

### 陰性症状の例 (元気がなさすぎてこまる症状)

- 憂うつな気分がつづくことが多い
- 喜怒哀楽の感情がわきにくい
- 興味・関心・意欲・集中力が乏しい



にんちきのうしょうがい

### 認知機能障害の例 (考えがまとまらなくてこまる症状)

- 理解力が落ちたと思う
- 段取りが悪いとよく言われる
- 何をしているのかうまく説明できないことがある







医師による診断と指示のもとに、あなたと相談しながら、さまざまな専門職が力をあわせて、あなたをサポート

がら、薬や言葉をもちいて行われます。します。

### 薬をもちいる治療

やくぶつりょうほう  
薬物療法とも言います。発症後のできるだけ早いうちに始めて、根気よくつづけることで再発(再び症状に悩まされること)を防ぎます。

### 再発を防いでいくと…

- 回復に向けて準備ができる
- 脳のはたらきや薬の効果が、維持される
- 仕事や学業をつづけることができる
- ご家族やご友人が喜ぶ など



### 統合失調症 再発の注意サイン(参考例)

あなたの注意サインを空欄に  しましょう。

- 寝つけない・途中で目が覚める・朝早く目が覚める
- ふだん出来ていることが何日も出来ないでいる
- 疲れやすい / 疲れがとれにくい
- 薬の飲み忘れが多い / 通院できていない
- \_\_\_\_\_
- \_\_\_\_\_

### 言葉などをもちいて行動に変化をもたらす治療

しん りしゃ かい てき ちりょう  
心理社会的治療とも言います。せいしんりょうほう  
精神療法・カウンセリング・  
精神科リハビリテーションなど、さまざまなプログラムがあります。

### ● 精神療法・カウンセリング(言葉をもちいて安らぎを得る治療)

医師や心理職などさまざまな専門職があなたの声に耳を傾けます。

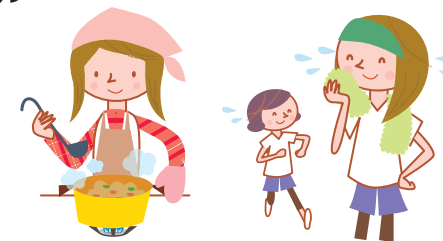
つういんせいしんりょうほう にん ち こうどうりょうほう  
【例】通院精神療法・認知行動療法・  
ピア(仲間による)カウンセリング・  
ふくやくそうだん せいしん ほけんふくし そうだん  
服薬相談・精神保健福祉相談など



### ● 精神科リハビリテーション(スキルアップを手助けする治療)

出来ることを伸ばし、新しいスキルを身につけるお手伝いをします。

さぎょうりょうほう せいかつぎのうくんれん  
【例】作業療法・生活技能訓練(SST)・  
しゅうろうくんれん  
就労訓練など



実際のプログラムの内容については施設ごとに異なります。主治医やスタッフの皆さんと相談しながら決めていきましょう。

## あなたの治療参加が欠かせません。主治医とよく相談 しましょう。

### あなたと一緒にえらぶ治療【薬の場合】

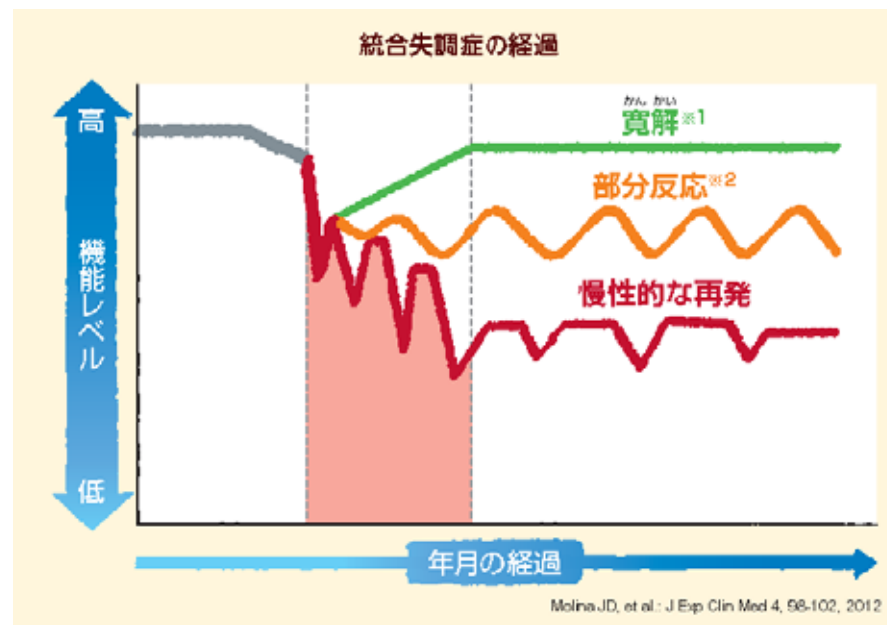
統合失調症の発症後の数年間は、病気の予後を決める大切な時期と考えられています。発症後の早いうちに治療を始め、服薬（あるいは投薬）をつづけることは再発を防ぐことにつながります。長くつきあうことになる薬について、病状や生活スタイルに合った「つけ方」をふくめ、いろいろなポイントについて主治医と相談しましょう。

#### ！相談のポイント

- どのように効く薬か？（有効性）
- おもな副作用は？（安全性）
- 私の病状にあっている？（適合性）
- ひと月あたりの負担は？（費用）

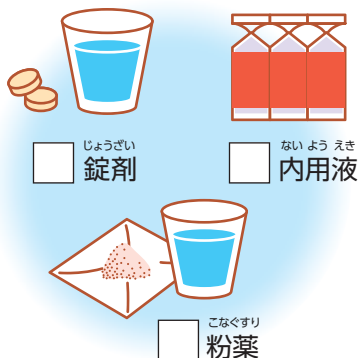


津谷喜一郎ほか訳：P-drugマニュアル WHOのすすめる医薬品適正使用。医学書院，p8-15，1998



※1 寛 解 … 症状が落ち着き、安定して生活できる状態  
 ※2 部分反応 … 症状が良くなる・悪くなるを繰り返す状態

### 毎日服薬をつづける場合



▶ 良いところは？

▶ 良くないところは？

### 数週に1度の投薬をつづける場合



持続性注射剤

4週間隔  
(または2週間隔)

▶ 良いところは？

▶ 良くないところは？



## 薬のしくみと効果について

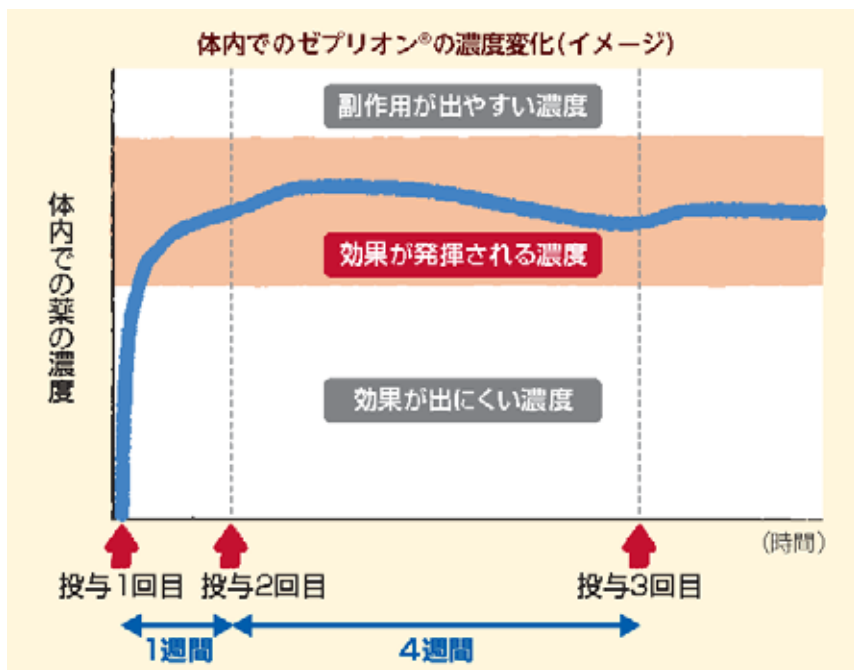
ゼプリオン®は投与後、体の中に薬(有効活性成分：パリペリドン)がとどまり、4週にわたって効果を発揮する持続性注射剤です。4週に1回の投与を受けて、薬による治療をつづけていきます※1。



※1 投与初期は4週間に1度の注射でないことがありますので、主治医に確認してください。

● この薬は4週間にわたって治療に必要な濃度がつづきます。

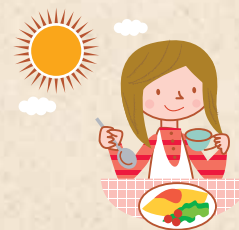
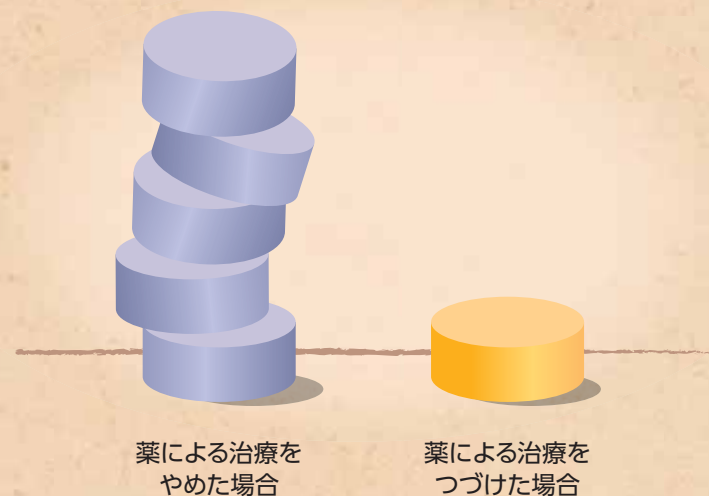
\*安定して持続させるために定期的(4週間ごと)に受診しましょう。



薬による治療をつづけた場合は、  
治療をやめた場合と比べて、  
再発のリスクが約1/5に減ることがわかっています※3。

※3 ゼプリオン®による治療を受けた患者さんの再発のリスクではありません。

### 再発のリスク





4週に1回の注射で治療できるため、  
毎日の服薬を気にせずに生活できます。



ゼプリオン®は、4週間に1回の注射で治療ができるため、毎日薬を飲む習慣から解放されます。薬の飲み忘れによる病状の悪化などの心配がありません。

症状によっては飲み薬を併用する場合があります。  
飲み薬の使い方など詳しいことは、薬剤師や医師にご相談ください。



目標を共有してリカバリー（自己実現）を目指そう

これから4週間でひと区切りの治療がはじまります。  
例を参考に具体的な目標と達成時期について考えてみましょう！

▶ 大きな目標と達成時期 例：桜の花が咲くころまでに〇〇できるようになる

..... これからチャレンジしていきたいことは？ .....

① チャレンジしたい順番(□)と項目(○)を線で結んでみましょう



運動



ダイエット



勉強



仕事



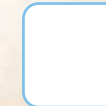
料理



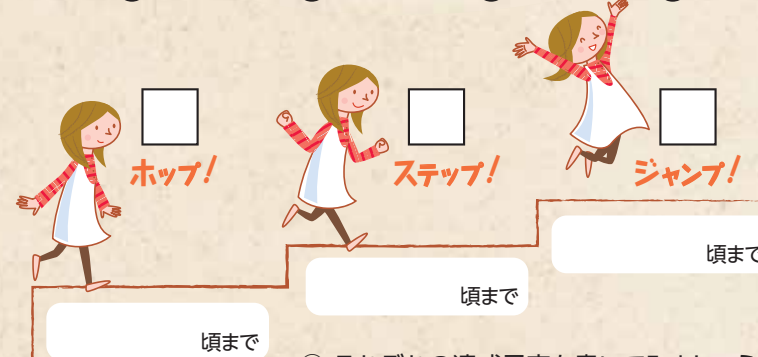
旅行



恋愛



その他



② それぞれの達成予定を書いてみましょう

【参考】 趙 岳人: The Power of Goal Sharing (Personal Goal Map) 精神神経学雑誌 113, 1028-1035, 2011

## あなたを支える皆さまへのメッセージ

毎日の服薬を確認する必要がなくなったぶん、

対話の時間をふやしましょう！



### 対話のヒント

#### ● 病気について正しい知識を持ちましょう

病気について正しい知識を持つことはとても大切です。患者さんが日ごろ感じている生活のしづらさについても無理せず、少しずつ対話を深めましょう。



#### ● お互いのつらさを言葉にしましょう

つらい時には、感情が態度に出てしまうものです。

「私はとても悲しい」、  
「僕はつらい」と

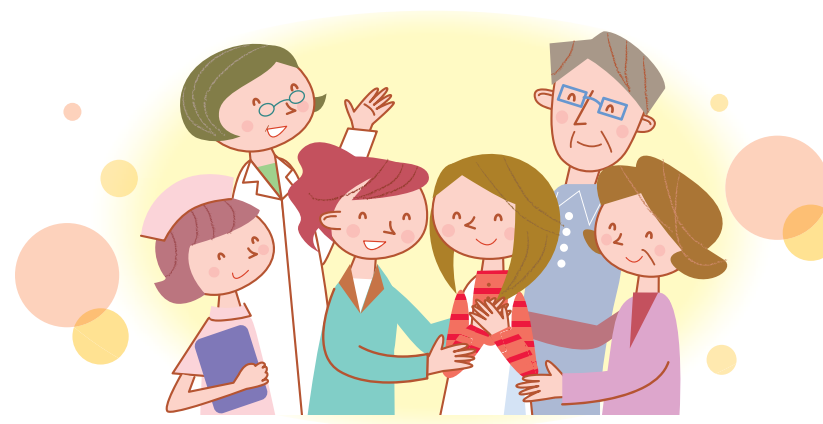
感情を言葉にしてみるのも大切です。



#### ● お互いに良いところをほめましょう

疲れやすいのも統合失調症の症状です。

何もできないのではなく、病気で疲れているのです。お互いに良いところをほめて、今できていることを少しでものばしましょう。

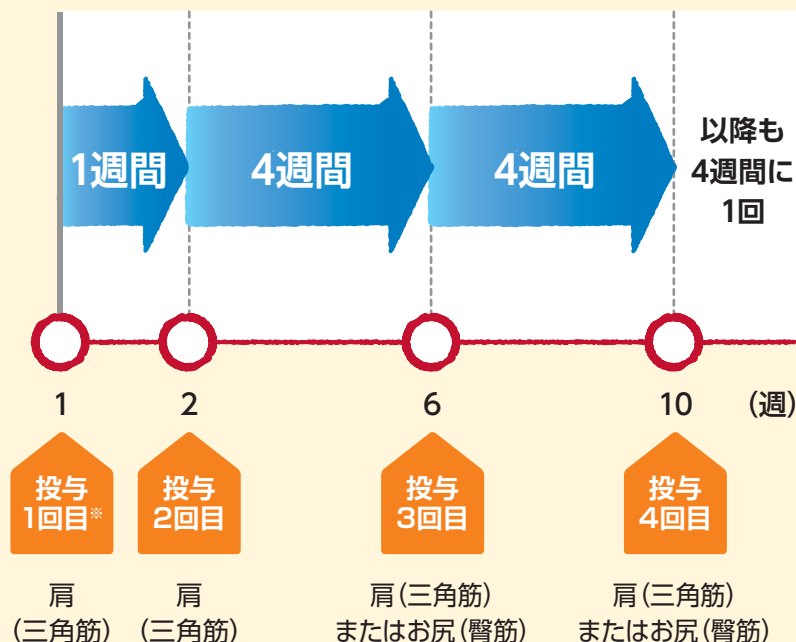


対話になれてきたら、夢や希望を叶えるための具体的な話に移りましょう。



## 投与スケジュールについて

ゼプリオン®は、1回目と2回目(1週間後)に  
肩(三角筋)へ注射したあと、  
4週間に1回の間隔で肩またはお尻に投与します。



※ 過去に経口パリペリドンまたはリスペリドンでの治療経験がない場合には、パリペリドンまたはリスペリドンの飲み薬を服用して安全性を確認します。主治医の指示に従ってください。

## 必ず守っていただきたいこと ①

- 他の薬を服用する場合、薬の組み合わせによっては、効果が変わったり、副作用が出たりすることがあります。他の病気で医療機関を受診したり、薬局で薬を購入する場合には、医師・薬剤師にこの薬による治療を受けていることを必ずお伝えください。
- 以前に薬で発疹などのアレルギー反応を起こしたことがある方は、医師・薬剤師に必ずお伝えください。
- 血糖値を上昇させることがあります。糖尿病の方や以前に糖尿病と診断されたことのある方、または糖尿病のご家族がいる方、血糖値が高めの方は必ず医師にお伝えください。
- 現在妊娠されている方、または妊娠している可能性のある方、妊娠を希望される方は、医師・薬剤師に必ずお伝えください。授乳中の方は授乳を中止してください。
- はくないしょう白内障の手術中または手術後に、がっぺいしょう眼の合併症が起こることがあります。手術前、眼科医にこの薬を投与していることを必ずお伝えください。



## 必ず守っていただきたいこと ②

ゼプリオン®を投与している間は、次のことに注意してください。

- 注射後は、注射した部分をもまないでください。
- この薬の作用を強めることがあるため、飲酒は避けてください。
- 眠気、注意力や集中力が低下する可能性があるため、自動車の運転や危険を伴う機械の操作などは避けてください。
- 血糖値が低下することもあります。脱力感、倦怠感、冷や汗、意識が薄れるなどの症状が現れたら、医師・薬剤師にお伝えください。
- この薬による治療を中止したときは、他の病院や薬局では特に医師・薬剤師にこの薬による治療を受けていたことを必ずお伝えください。投与中止後も、しばらくの間、薬が体内にとどまっています。

こんなときはどうする？

**Q** 注射をするのが遅れた場合はどうすればいいですか？

**A** ゼプリオン®を注射する4週に1回の通院日に医療機関に行くことができなかった場合、できるだけ早く医療機関を受診してください。

**Q** いつまで注射をつづければいいですか？

**A** 症状が落ち着いた直後に薬を止めると、病気が再発する可能性が高くなります。様子をみながら薬を調整する必要があり、必ず主治医にご相談ください。

## 副作用について

## 考えられる副作用

次のような症状が現れたら医師・薬剤師にお伝えください。

- 注射を打ったところが痛む、硬くなる
- 眠れない、眠気
- 興奮しやすい、敵意をもつなどの精神症状の悪化
- 足がむずむずする、じっと座ってられない

## 特に気をつけていただきたい副作用

次のような症状が現れたらできるだけ早く医師・薬剤師にお伝えください。

- 急な高熱・発汗、唾液が増える、ものが飲み込みにくくなる、脈が速くなる、筋肉がこわばる
- 口をとがらせたり、引っ込めたり、舌を出す
- 急におなかが張るような感じ、なかなか治らない便秘とそれに続く腹痛、吐き気
- むくみが伴わない短期間での体重増加
- 発熱、発疹、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる
- 手足のしびれ・痛み、筋肉の痛み、尿の色が赤褐色になる
- 動悸、胸の痛み、胸部の不快感、脈が速くなるような感じ
- 頭痛やめまい、手足のしびれ
- のどが渇く、水をよく飲む、尿が多く出る
- 脱力感、倦怠感(だるさ)、冷や汗、手がふるえる
- 発熱、さむけ、のどの痛み
- 息切れ、胸の痛み、手足の痛み、むくみ
- 性欲に関係なくおこる陰茎の持続するぼっ起
- 不安感、ちくちくした感じ、めまい

これ以外でも、何かいつもと違う症状が現れたら、できるだけ早めに医師・薬剤師にお伝えください。



## 暮らしの中の身近な社会資源

統合失調症の患者さんの通院や社会参加・社会復帰を支援するさまざまな制度があります。

詳しくは、主治医または精神保健福祉士、お住まいの市区町村の福祉担当窓口にご相談ください。

### 経済的な支援

#### ● 自立支援医療制度

精神障害をもつ方が通院医療を受ける場合、病院や薬局に支払う費用の一部を自治体などが負担する助成制度です。

### 社会参加・社会復帰の支援

#### ● 精神保健福祉センター

地域の人々の心の健康の維持・向上を目指し、精神障害をもつ方の社会参加支援などを総合的に行う行政機関です。

### その他の支援

#### ● 精神障害者保健福祉手帳（障害者手帳）

精神障害をもつ方が日常生活や社会生活のうえで必要なさまざまな福祉サービスを受けるときに提示する手帳です。

## あなたとわたしの対話Memo

▶ 一緒にえらんだ治療

▶ 一緒にえらんだ薬

▶ 目標（11ページを参照）

### あなたの相談先

病気や薬についての相談先は？

夢や希望を実現するための相談先は？

暮らしについての相談先は？